

2016 年 9 月 26 日

各居宅介護支援事業所
各地域包括支援センター
管理者各位

一般社団法人北海道医療ソーシャルワーカー協会
会 長 関 建 久

「入退院時連絡率調査」に関する協力のご依頼

謹啓 時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃より、当協会の活動に御理解とご協力を受
け賜わり、心より御礼申し上げます。

このたび、北海道医療ソーシャルワーカー協会では、下記の通り医療機関と介護支援専門員間の入退
院時連絡率に焦点をあてた調査を実施致します。

医療機関と介護支援専門員による相互の入退院連絡ないし情報提供は、連携の始まりともいえる重要
な連携行為ですが、当協会が 2012 年に実施した調査では、相互に約 4 割の連絡ないし情報提供漏れが
あるという事実が明らかになりました（当協会ホームページ参照）。

この結果を受け、当協会としては退院時連絡の促進のみならず、道内各地で医療・介護連携の促進に
向けた各事業を展開して参りました。しかし、未だ医療・介護の連携不足を前提とした議論が展開され
ているのが実情であり、これに伴う患者の不利益も多く報告されております。

本調査では、とりわけ入退院連絡率に関する現状及び課題について明らかにし「患者が地域で安心し
て生活することができる連携体制の構築」に向けた重要な指標とさせて頂きたく存じます。

つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をお汲み取りいただき、皆様のご理解
とご協力を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

謹白

記

1. 調査名 医療機関と介護支援専門員間における「入退院時連絡率調査」
2. 調査対象 全道の地域包括支援センター及び居宅介護支援事業所（約 1800 箇所）
3. 調査〆切 2016 年 11 月 10 日（木）
4. 調査方法

(1)2016 年 10 月 1 日～10 月 31 日の期間に医療機関から退院した利用者に関して、医療機関との連
絡状況について別添の調査票にご回答ください。

(2)各事業所内で取りまとめていただき、当協会事務所へ F A X にてご返信願います。調査用紙が不
足の場合は、恐れ入りますが各自コピーをお願いいたします。

5. 備考

- ・調査は無記名で実施し、本調査目的以外には使用いたしません。調査票の内容は自由記載を含め統計
的な手続きに従い処理しますので、個別の調査票の内容が公開されることはありません。
- ・調査結果につきましては、2016 年 12 月 3 日に開催予定の北海道在宅医療介護連携推進セミナーにて
報告させて頂く予定です。また、当協会ホームページ (<http://www.hmsw.info/>) にも掲載予定となっ
ております（2017 年 3 月）。

以上

《お問い合わせ先》
一般社団法人 北海道医療ソーシャルワーカー協会
調査研究部 不動 宏平
TEL 011-883-8060（真栄病院 地域医療連携室 直通）
メール fudou@hmsw.info